



学校だより

2021.2.28 No.133

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

明石高専

<https://www.akashi.ac.jp>



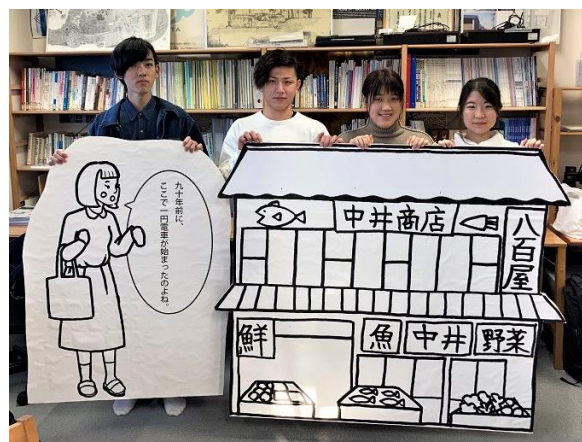
スポーツ大会(12月15～16日)



令和2年度兵庫県高等学校総合体育大会
代替大会優勝バレーボール部(地区別)(9月5日)



全国高専ロボットコンテスト 特別賞
(11月29日オンラインにて開催)



デザコン2020in名取 創造デザイン部門
最優秀賞(文部科学大臣賞)
(12月5～6日オンラインにて開催)

～ 目 次 ～

校長講話.....	2	学生相談室より.....	8
新型コロナウイルス感染症拡大防止への 取り組みについて.....	3	2年生バス旅行報告.....	9
学生行事.....	4	留学生紹介.....	10
卒業・専攻科修了にあたって.....	5	編入学生紹介.....	11
新任教員挨拶・退職される教員より.....	7	各種大会コンテスト報告.....	12
教員表彰報告・高専体育大会報告.....	8	図書館より.....	14
		校内短信・行事予定・学生表彰.....	16

校長講話

ICTもすごいがバイオもすごい

校長 神戸 宣明（かんべ のぶあき）



最近の科学技術の発展は目覚ましく、我々の生活様式や社会の仕組みを大きく変えつつあります。報道では情報やAI関連技術がよく取り上げられますが、医学およびバイオ技術の発展は人の生き方にさらに大きな変革をもたらす可能性があるように思います。過去10年の間に、ノーベル医学生理学賞に4名の日本人が選ばれました。日本が学術の発展に大きく貢献していることを示すものとして大変勇気付けられます。私はこの分野には詳しくありませんが、最近見聞きした中で、興味をそそられた記事を紹介させていただきます。

日本が世界を先導している研究として、iPS細胞と呼ばれる人工多能性細胞を挙げたいと思います。生物は一つの受精卵から細胞分裂により様々な臓器細胞に分化しますが、この不可逆と考えられていた変化を、4種類の試薬を作用させることにより逆転させ

た画期的な技術です。言い換えれば、細胞を若返らせたことになります。正確な例えではありませんが、ポテトチップスから発芽可能なジャガイモを作る技術と考えれば、そのすごさが分かります。既にiPS細胞から作った網膜細胞や心筋シートの移植など、医療応用が始まっています。この技術により、医薬品開発や再生医療が格段に進み、今まで効果的な治療法がなかった病ができるだけ早く克服されることを願っています。

先日のテレビや新聞で報道されましたが、加齢により増える「老化細胞」を死滅させる研究成果が、東京大学などのグループから発表されました。¹⁾まだマウスでの実験結果ではありますが、加齢による身体機能の衰えを改善させる、即ちマウスを若返らせることが可能になったということです。また、最近の書籍²⁾によると、老化を疾患として捉え、その治療法の開発が精力的に進められています。体を作っている細胞は全て同じ遺伝情報を持っていますが、年を経るうちに遺伝子の形が変わり、それが老化にかかわっていると考えられています。既に大きな成果が得られつつあり、研究が順調に進展すれば、人の健康寿命がさらに数十年伸びると期待されています。

日本生まれのノーベル文学賞受賞作家、石黒一雄氏によるベストセラー小説Never Let Me Go³⁾は、他人に臓器を提供するために育てられる人の物語ですが、様々な医療技術の発達によりこのようなおぞましい世界は杞憂に終わりそうです。お釈迦様は病や死等の苦しみから人を救うために出家されましたが、その状況も変わりそうです。日本人の平均寿命が60歳を超えたのは1950年頃ですが、一昨年の日本人の平均寿命は女性が87.45歳、男性が81.41歳です。この70年ほどで平均寿命が約25年延びました。今後、医療技術が順調に進展すれば、近い将来、平均寿命だけでなく健康寿命も100歳を軽く超えそうです。現在の高専の学生は「100歳はまだ若者」という時代に生きることになります。今の社会制度では卒業後40年余り働くこととなりますが、定年後も更に40年近く健康に生きられるとしたら、人生の価値観は大きく変わるでしょう。退職後、それまでできなかった趣味に生きるのも楽しそうです。また、多くの知識や経験を活かして仕事を続けたり、若者の教育や社会貢献に勤しむ日々も魅力的です。もう一度学校に戻って異分野の勉強をし、全く新しい第二の人生を始める道も刺激的で捨てがたい。若い方々には、無限の可能性があります。そのような世の中をこの目で見てみたいと思いますが、残念ながら私は少し早く生まれすぎたようです。若い方々には、これからの長い人生をよりよく生きるために、今の間に知恵と生きる力を養っておいてほしいと願います。

1)Nakanishi et al. *Science* **2021**, *371*, 265.

2)「Life Span」D. A. Sinclair他著 訳本：東洋経済新聞社「老いなき世界」

3)日本語名「私を離さないで」映画やドラマにもなっている

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みについて

全校での取り組み

事務部長 森田 淳（もりた じゅん）

令和2年は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年となりました。

本校では2月に新型コロナウイルス感染症に関する対策会議を立ち上げ、校長、副校長以下本校の主要メンバーが全力で感染症対策に取り組んできました。5月8日からの遠隔授業の準備のため、必要な学生への貸し出し用ノートパソコンやWi-Fiルータを学校の経費で用意いたしました。また、7月6日からは通常授業が再開しましたが、学生の皆さんが安心して登校し、安全な学校生活を過ごせるように様々な対策に取り組んできました。例えば各教室の座席を可能な限り前後左右間隔を空けた配置、2方向の換気、屋外手洗い場の増設（4カ所）、校内のドアノブや手すり等の消毒作業を実施する臨時用務員の雇用、アルコール消毒液・石けん液・アルコール除菌シート・使い捨てゴム手袋などの衛生用品の購入、総務課や学生課などのカウンターへのビニールシートの設置、寮食堂及び学生食堂のパーティションの設置などに取り組みました。これらのパーティションは本校の実習工場で製作されたものです。高専ならではの取り組みではないかと思います。また、来日できない留学生対応として授業の録画取り用のビデオカメラや三脚の購入なども学校の経費で実施いたしました。



屋外手洗い場（体育館）

来日できていなかった留学生は10月中旬過ぎに来日し、14日間の待機期間ののち、11月初旬からは本校学生寮へ入寮のうえ通常授業に出席することができました。これからも所謂withコロナの時期が暫く続くのではないかと考えられますが、本校では保健所の指導のもと感染症対策に引き続き全力で取り組んで参ります。学生の皆さんも引き続きマスクの着用、手指の消毒、3密の回避など感染症対策に取り組んでいただき、安心して安全な学校生活を過ごしていただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策 ―学生寮での取り組み― 三密・行事・国際寮

寮務主事 善塔 正志（ぜんとう まさし）

- ・寮食堂の場合 ― 窓の開放（密閉回避）・席数を2/3にし利用を時間制（密集回避）・中央にアクリル板のパーティション設置、会話を控える、会話するときはマスク着用（密接回避）、食事受け取りに並ぶ際は、床に貼った表示マークに立って前後の間隔をとる（ソーシャルディスタンス）、マスク着用・手洗い・食事時間15分（基本対策）等の対策をとっています。なお食事提供は、定食形式です。開寮前、保健所職員の方に、現地を見てアドバイスいただき、運用しています。
- ・行事について ― 寮生の自主的寮運営継続のため、対策（マスク着用・こまめな消毒など）をとりながら実施しています。総会（集会→リモート）・寮内挨拶回り（参加者数制限・時間短縮・実施時期と場所の変更）・球技大会（実施期間3日を1日に短縮・競技者数制限・試合数削減）・クリスマス会（会食・イベント→夕食の質向上・リモート）などが上げられます。
- ・国際寮 ― 竣工が3月から6月中旬以降に延期、国際寮入寮は10月予定です。キャンパシィ逼迫のため学寮は手狭な収容状態となりますが、後期は余裕を持てる見込みです。そうならば新型コロナ収束まで、国際交流プラザを一時隔離施設として使用することも可能となります。

点呼時間の繰り上げ・全日の同実施、上級生のアルバイト自粛要請等、ご不便をかけておりますが、引き続き、ご協力くださいますよう、お願いいたします。



寮食堂パーティション

学生行事

初めての高専祭

高専祭実行委員長 機械工学科 4年 酒井 佑（さかい ゆう）



私たち高専祭実行委員会の今年度最初の仕事は、高専祭を開催するかどうか決定することでした。会議での話し合いの結果、学生みなさんの安全を最優先するため、一般のお客様のご来場をお断りし、学生限定のイベントとして開催することになりました。開催が決定した後も、あらゆる場面での感染症対策、校内のレイアウト変更等、今までにない多くの検討事項や制約に悩まされました。

1年前には想像もできなかった世の中になり、

高専祭を開催することは難しいのではないかという意見もありました。そんな中でも、前向きに開催へと働きかけてくれた方々への感謝をこめて、高専祭を機に何かをもう一度始めようとしている人への応援の思いを込めて、テーマを「REBOOT」と名付け、活動してきました。

何もかもが「初めての高専祭」だったからこそ、新たな取り組みを始めることもできました。ご来場いただけなかった学外のお客様にも高専祭の様子を楽しんでいただくため、オンラインでの配信を実施しました。お楽しみいただけましたでしょうか？頼りになる仲間を支えられ、天候にも恵まれ、大きなトラブルなく高専祭を開催することができました。

来年度は画面越しではなく、より活気のある高専祭の雰囲気を感じていただけることを切に願います。

開催にあたりご協力いただいた先生方、地域の皆様、実行委員の仲間感謝申し上げます。

スポーツ大会を振り返って

学生会体育局長 機械工学科 3年 村上 駿（むらかみ しゅん）



今年度はCOVID-19の世界的な流行の影響で、私自身も学生会執行部の皆も学生の皆さんも、全員が不安を感じたスポーツ大会だったように思います。既存のマニュアルやルール、タイムスケジュールなど全てにおいて「今まで通り」が通用しない中、リスクの伴うスポーツ大会を行う意義があるのか。そんな不安が体育局長になった1年前からずっとありました。それでも、多くの楽しみが消えてしまった今年だからこそ、思いっきり体を動かしてクラスみんなで笑顔になってほしい。そう思いスポーツ大会の開催を決定しました。そして当日、スポーツ大会での歓声や競技出場者の一生懸命な顔を見ることができ、本当に嬉しく思いました。

当初は、まだスポーツ大会が後期中間試験後に移されて2年目だったので「冬開催のスポーツ大会運営の基盤を安定させること」を意識していました。COVID-19が流行ってからは、そこへさらに「感染症対策を行いながらのスポーツ大会運営のマニュアルをつくること」も加わり、毎日が計画修正の繰り返しでどこから手を付けたらよいのだろうと、日々頭を悩ませながら過ごしていました。しかし何度も相談に乗ってくれる同級生たちや、積極的に行動を起こしてくれた学生会執行部の皆、競技者として意見をたくさん出してくれた各部活動の代表者の皆様のおかげで無事難局を乗り越えることができました。皆さんと頭を悩ませながら必死につかみ取ったスポーツ大会の開催は、私にとって非常に大きな経験となりました。

最後に、多くのご協力を頂いた先生方、学生課職員の方々、学生会執行部の皆、そして学生の皆さんに心より感謝いたします。本当にありがとうございました。来年度のスポーツ大会の開催の形はまだ分かりませんが、私たちは全力で取り組みます。引き続きご協力よろしくお願いします。

卒業にあたって

長かった5年間

機械工学科 5年 田崎 雄大（たさき ゆうた）



寮生として多くの卒業生の声を耳にしてきました。一番聞くのは「あつという間でした」。楽しかったからこそ、没頭できることがあったからこそ時間が短く感じられたという意味なのでしょう。でも僕はこの5年間、長かったと思います。常に何かに没頭してきました。ロボコン、エコラン、高校生クイズにも挑戦しとても濃い時間を過ごせました。思い出もたくさんできたと学んだことも多い。だからこそあつという間という言葉で

寮生として多くの卒業生の声を耳にしてきました。一番聞くのは「あつという間でした」。楽しかったからこそ、没頭できることがあったからこそ時間が短く感じられたという意味なのでしょう。でも僕はこの5年間、長かったと思います。常に何かに没頭してきました。ロボコン、エコラン、高校生クイズにも挑戦しとても濃い時間を過ごせました。思い出もたくさんできたと学んだことも多い。だからこそあつという間という言葉で

栄光あれ

電気情報工学科 5年 下村 瑠璃（しもむら るり）

5年前、私は少しの期待感と大きな不安を抱えて入学式に挑んでいた。高校とは違う特殊な環境。勉強は追いつける？部活は？友達はある？5年間もやっていける？正直、あつという間だった。勉強や部活に奔走する日々は、当初の心配事など考える暇もないほど、めまぐるしく過ぎていった。

しかし、そんな忙しい5年間でも確かに培い、手に入れたものがある。授業で学んだ知識や能力、部活で培った忍耐力、そして一番は、それらを共に乗り越えてきた「友」だ。時にふざけ合い、時に助け合ってきた仲間は、掛け替えのない一生モノの宝物になった。

そんな長いようで短い5年間の楽しい学生生活も、もうすぐ終わりを迎える。みんな少しの期待感と大きな不安と、そして高専で培った色んなものを引っ提げて、新しい環境へとそれぞれ進んでいく。寂しいけれど、怖いけれど、入学式の自分よりも少し強くなった自分なら、きっとやれるはず。私の、そしてみんなのこれからの人生に。



すべての友人に感謝を込めて

都市システム工学科 5年 花段 彩華（かだん あやか）



私にとってここで過ごした5年間はとても濃密なものでした。たくさんの楽しい出来事もあれば、時には課題や友人関係に悩んだり多くの困難な壁に阻まれることもありましたが、ですが個性の強すぎるクラスメイトや友人達、教員の方々に支えられ、これらの思い出は私にとって忘れられない大切な思い出となりました。

私たちは卒業してこれからそれぞれの道へ歩いていきます。歩いていく道の中で困難なことにぶつかることもあると思います。そんなときは仲間を頼ってください。できることは少ないかもしれないけれど支えになれるといいなと思います。

私はこの5年間で、ともに歩んできた友人たちを忘れません。楽しくて忘れられない大切な思い出と一緒に築いてくれてありがとう。

卒業にあたって

A16

建築学科 5年 大谷 美晴（おおたに みはる）



5年前、それぞれの思いを抱え私たちは明石高専に入学した。そして、ここで過ごす5年間は平穏に過ぎるはずだった。しかし、最後の年だと言うのにも関わらず、5年生になってからというもの、コロナの流行による自粛。見学旅行、教養行事の中止。正直に言って、予想だにしない最悪の年であった。そんな中でも皆の進路は決まり、今、また新たにそれぞれの道へと向かう時は来た。それらの道は困難を極めるやもし

れない。しかし周りから、あのクラスは見習うな、やばい、と言われ続けてきながらも、5年間過ごして来ることが出来た私たちなら、大丈夫だ。仲間だとかいう薄っぺらく上っ面だけの言葉は嫌いだが、一人で辛くなったときは、5年も共に過ごしてきた人がいることを忘れないでおこう。頼るでもいいし、頼らせてもいい。少なくとも私は大歓迎だ。一緒に愚痴でもこぼそう。苦くも楽しい5年間をありがとう。またどこかで。

専攻科修了にあたって

専攻科での2年間

機械・電子システム工学専攻 2年 江坂 真理生（えさか まりお）

明石高専専攻科に入学してあっという間に2年が経ちました。この専攻科で過ごした2年間は、本科で過ごした5年間で同等以上に濃いものであったと感じています。それは専攻科で、より深い専門知識に加えてそれを「伝える力」「聴く力」を育めたからです。

専攻科生活で特に印象に残っていることとして、本科の実験のティーチングアシスタント(TA)を務めさせていただいたことがあります。TAをすることで自分の知識を深めるとともにそれを他の人に教えるという機会をもてたことは、今後、技術者として社会に貢献していくうえで大変貴重な経験でした。加えて、専攻科では本科と比べてプレゼンテーションを行う機会が非常に多く、他学科出身の学生に自分の研究内容を発表することが何度もありました。このようなTAやプレゼンテーションの経験によって、専門的な内容を他の人にわかりやすく伝える力という技術者として重要な能力を育めました。また、それと同時に、他の人からの質問や幅広い分野の知識を聴く力も育めたと考えています。

春から新たな道を歩んでいきますが、明石高専で得た専門知識やさまざまな力をもって技術者として社会に貢献し、活躍できるよう努めていきたいと考えています。最後に、7年間熱心なご指導をいただいた先生方、いつも支えてくれた家族、学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

充実した7年間

建築・都市システム工学専攻 木村 真悠（きむら まゆ）



本科時から数えると今年で7年目になります。とても充実した7年間で、本科入学時は小学校より長く、留年せずに通えるか不安で一杯だったことを今でも覚えております。家族や友人、先生方に大変お世話になり、自身の成長を感じると共に、遂に卒業と少し物寂しい思いもあります。専門教科に関する学習はもちろんのこと、卒業研究に関しても、在籍の研究室の先生にきめ細やかな指導を頂きました。まだまだ自身は、未熟

ではあるものの、とても良い環境で学ぶことができ、心から感謝申し上げます。他にも友人や高専生から良い刺激を受ける機会が多くあり、特に、高専で学んだ「挑戦し続ける精神」を胸にこれからも精一杯頑張っていきたいと思います。明石高専のOBの先輩を見習って私もそんな一人になれるよう邁進して参ります。本当に学びの多い7年間でした。有難うございます。

新任教員挨拶

黒田 秀教（くろだ ひでのり）

令和2年9月1日に着任した黒田です。この明石高専では主に国語を担当することになります。簡単に自己紹介をしますと、専門は漢学(Chinese philosophy)で、平成18年3月に博士号を取得すると同年8月より、台湾の大学に専任教員として着任、台湾人学生に日本語を教えるという生活を始めました。ところが、実は台湾は日本以上の少子化が進行しています。私の勤務校もその直撃を受けて経営が困難になり、令和元年8月、台湾滞在に区切りをつけ、日本に帰国しました。台湾の食事や果物はどれも美味しく、しかも油を多用しているため、^{またたけ}しなくていい成長までしてしまった13年間でしたが、退屈だけはしませんでしたので、このような人生も「亦楽しからずや」と言ったところでしょうか。

台湾において従事していた日本語教育からは一転し、明石高専では、日本人学生に日本語を教えるということになります。外国人に日本語を教えていて気付いたのは、言語とは意思伝達のツールなのですから、日本人に対する国語教育も、技術的指導を重視していくべきではないかということです。また、日本社会にますます増えていく外国人の自己主張と渡り合っていくためには、日本人も自分の考えを言語によってアウトプットしていく技術をより磨いていくが必要になるでしょう。こうした観点に基づき、技術としての日本語を教授していければ良い、と考えております。

退職される教員より

山と空を見上げて

本坊 さおり（ほんぼう さおり）



みなさんこのような状況下ですが、元気に過ごされているでしょうか。写真は通勤途中に見える景色です。日々移り変わる山と空を見上げ大学まで歩いています。場所は変わりましたが、今も変わらず学生サポートの部門で日々個性豊かな学生さんたちとの関りを続けています。規模が大きくなった分、すれ違えば挨拶の交わされた明石高専のアットホームさを懐かしく感じています。明石高専では学生相談室で、個別相談や講座利用、パーソナルディベロップメントなどで関わることでできた学生の方々、1年生の相談役やポスター制作・相談室の装飾を担ってくれた方々など多くの出会いと助けを得た3年半でした。心から感謝しています、ありがとうございました。毎日空を見上げおいしい空気を吸い込むと、少し体が生き返るような気持ちがしています。もやもやしたり、しんどかったりする時は、下を向きがちかもしれません。そんなときは、明石高専なら近くのと海と空を見上げて胸いっぱい深呼吸するのも悪くないのではと思います。これからは明石高専生のファンとして、何者にもなっていけるみなさん1人1人の進まれる道を応援しています。

私の好きな言葉「一期一会(いちごいちえ)」と文学からの一節

一般科目 水野 知津子（みずの ちづこ）

グローバル化された世界で、誰とでも対等にコミュニケーションできる実践的英語力を持つ事が不可欠な時代になっている。厳しい世の中を生き抜くためには、自分の得意分野のスキルや能力を磨き続けるのは勿論、「素敵な人」に出会い、学び、幸福な時間を過ごす経験が大きな力を与えてくれると思う。

「素敵な人」というのは、誰に対しても失礼な事をしない、言わない。誠実で、優しく、公平である。どんなに社会的地位が高く、金持ちで学歴が高くても決して自慢せず、とても謙虚な人たちである。控えめで目立たない人が多いように思う。私も出会うことができた。幸運だと思う。自分なりに前向きに努力し、誠意を尽くしている事を理解してくれたのだと思う。

「一期一会」「Once-in-a-lifetime encounter」。茶道に由来するこの言葉は、「生涯に一度しかない」と心得て、ひとつひとつの出会いに誠意を尽くすことである。誠意は、わかる人には通じると信じている。「一期一会」が自分を支えてくれている。皆さんも「素敵な人」との出会いを楽しんで下さいね！

“We are all travelers in the wilderness of this world, and the best that we find in our travels is an honest friend.”

Robert Louis Stevenson (1850~1894)スコットランド出身、イギリス人作家

教員表彰報告

副校長 江口 忠臣（えぐち ただおみ）

明石高専教員の教育研究活動における功績および活躍の一端を紹介します。境田彰芳教授は、兵庫県の県政伸展、公共福祉増進に功労のあった方の表彰のうち学術教育部門で特に功績顕著であるとして兵庫県知事から表彰されたものです。加藤隆弘教授は、明石市から永年にわたる活動により、スポーツ振興に功績を収めたとして受賞したものです。中川肇教授は、明石市から市政の各分野で貢献し、その功績が顕著であるとして表彰されたものです。本塚智貴助教は、日本工学教育協会から工学教育ならびに技術者教育等の発展に多大の影響と貢献を与えた業績に対して表彰されたものです。岩野優樹准教授は計測自動制御学会が主催する講演会にて優れた研究発表が表彰されたものです。皆様とともに受賞を讃え、さらなるご活躍を祈念いたします。

所 属	氏 名	令和2年に受賞した賞
機械工学科	境田 彰芳	令和2年兵庫県功労者表彰（学術教育功労）
機械工学科	加藤 隆弘	2020年度明石市スポーツ賞功労賞
建築学科	中川 肇	令和2年度明石市自治功労表彰
建築学科	本塚 智貴	第24回（2019年度）工学教育賞（奨励部門）
機械工学科	岩野 優樹	第21回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会（SI2020）優秀講演賞

高専体育大会報告

参加できることに感謝

学生主事 森下 智博（もりした ともひろ）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度の体育大会は地区大会・全国大会ともに中止になりました。一部の競技では代替大会が実施されましたが、感染状況により参加できない高専もありました。そのような状況にあって、本校学生は幸いに多くの競技に参加できました。活動制限で十分な練習ができなかったかもしれませんが、感染防止のために、チームメイトやクラスメイト、家族の理解と協力があつたことを忘れてはなりません。オンラインで開催されたロボコンでは2チームが全国大会に出場し、デザコンでは2チームが最優秀賞を受賞しました。また、英語プレコン全国大会では2位になりました。学生達の努力を無駄にしないために、感染対策や大会運営方法の工夫など、通常とは違う形であっても大会開催を実現していただいた競技団体・全国高専連合会・関係各位に感謝いたします。

学生相談室より

普通であることとは？

学生相談室長 穂本 浩美（あきもと ひろみ）

新型コロナウイルス、一向に収まる兆しがありません（2020年12月の時点）。日々の行動で感染リスクを抑えることができるといってもやはり安心できませんね。コロナと関連付けるのは不謹慎ですが、学生の皆さんがかかるかもしれないものに恋の病があります。マスクを着用していても、入念に手洗いをしても、どれほど密を避けようとも、恋はある日突然舞い降りてきます。そうなると打つ手はなく下手をすると防戦一方になってしまいます。でも恋はコロナと違って皆さんの心を豊かにしてくれ、同じ景色もこれまでと違った色どりで見せてくれることがあります。時に切なく苦しい思いをするかもしれませんが、それらはいつしか心の中で醸成され人間性を高めてくれるものです。皆さんのような若い方たちが異性に好意を抱くことは自然なことですね。でも好意を抱くのは異性間だけではなく同性間でも起こります。私たちのまわりにはいろいろな考え方や価値観が存在します。心と体の性が一致しない人、体の不自由な人、繊細な人、コンプレックスを抱えている人、さまざまな思いを持った方たちがたくさんいて「〇〇が普通」とは言えません。学生相談室ではそんな皆さんの抱える思いが少しでも軽くなればと、週2回カウンセラーの先生が来校されています。どんな話でも聞いていただけますので、気軽に相談室の扉をノックしてみてください。

2年生バス旅行報告

高専生×京都＝？

機械工学科 2年 藤田 裕（ふじた ゆう）



私たちのクラスは研修旅行として、京都に行きました。

まず私たちが訪れたのは、京都御所です。スケールの大きいお屋敷と風情あるお庭が敷地内にいくつもあり、その広大さと美しさはとても印象に残りました。次に訪れたのは嵐山です。昼食場所は自由だったので、私たちはリラックマがテーマのカフェに向かいました。私が食べたのはコリラックマのオムレツです。ごはんで作ったキャラクターのまわりに、まくらに見立てたふわふわなたまごと、おふとんに見立てたソースがかかっている、かわいい上にとってもおいしいオムレツでした。そして、ランチが終わると少し徒歩で移動し、紅葉で有名な臨済宗大本山天龍寺の塔頭寺院である宝厳院（ほうごんいん）の中の茶室でお抹茶体験をしました。苦いだろうと身構えていたお抹茶も、お菓子を食べた後だと苦くなく、とてもおいしかったです。

今回の研修旅行は、心動かされる体験でいっぱいの旅、でした。

コロナ渦のバス旅行

電気情報工学科 2年 田崎 千織（たざき ちおり）

10月22日、コロナ禍で決行が危ぶまれていたバス旅行に行ってきました。2Eでは京都の嵐山と四条河原町の二手に分かれて、数時間自由に京都を満喫することができました。私は嵐山に行ってきたので、その一部を紹介したいと思います。

最初に訪れたのは嵐山の代表的な観光地である、竹林の小径（ちくりんのこみち）です。空を覆いそうなほど茂った竹は壮大で、木漏れ日がとても気持ち良かったです。また、天龍寺に行き、世界遺産である「雲龍図」も観てきました。天上いっばいに描かれた龍は、部屋のどこから見ても自分が龍に見られているように感じるほど迫力がありました。雲龍図以外も石庭や様々な季節の花など、落ち着いた景色を楽しむことができました。感染症対策をしながらの観光でしたが、人が少ないこともあり、とても楽しめました。時間の関係で行けなかった場所も多いので、また訪れたいと思います。



古都「京都」

都市システム工学科 2年 岩元 太壱（いわもと たいち）



私たちのクラスは京都へバス旅行へ行ってきました。バスで京都駅前まで行き、そこからは班別行動となり、私の班は清水寺を訪れました。そこでは、昔ながらの古い建物が立ち並び、その佇まいは厳かであり貫禄がありました。このバス旅行での一番の収穫は、京都の歴史的な重要文化財に触れることで、歴史の重みを感じられたことです。かつてここで昔の人々が生活していたり、その建物を建造した技術力の高さに驚かされ、これらの建物が人々の暮らしも支えていたのだなと思うと、なんと感慨深いものがありました。私も学校でたくさん勉強して、将来こうした歴史的建造物を後の人々に残していける要に、都市計画などを学校で学び、生かしていきたいと思います。

バス旅行

建築学科 2年 ユーツ 望天（ゆうつ のあ）

バス旅行では人生と同じく三つの袋が大切である。袋の内容は堪忍袋、おふくろと二つ目までは人生のそれと同じなので、三つ目の袋の話をしたい。

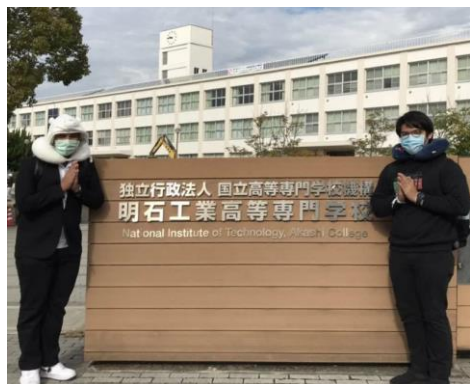
その三つ目の袋とはビニール袋のことである。

バス旅行ではゴミが出やすい。お菓子を食べたくなったり、ティッシュで鼻をかみたくなったりした時に救ってくれるビニール袋は、バスの中だけにとどまらず、観光中にもその有用性を発揮する。実際、今回訪ねた倉敷美観地区でもビニール袋は大いに役立った。倉敷美観地区はとても美しい町並みであった。西洋風の建築と日本の伝統的な古民家が共存して生まれる独特の雰囲気、私は気に入った。美観地区は建物から植栽に至るまで丁寧に整備されている。観光客であった私達にも、美観地区を保全し、つないでいく義務がある。ビニール袋があれば、自身が出したゴミのやり場に困ることはない。残念ながら、美観地区内の川にゴミが捨てられているのを何度か目にした。一人一人がその意識を持てば、美しい町並みは維持され続けるのではと感じた。

次に、大原美術館に行った。石造りの重厚感ある建物は、まさに美術館と呼ぶにふさわしい気品と風格を備えていた。途中、雨が降ってきたのでビニール袋に体を拭いて濡れたタオルを入れた人が多く見受けられた。このようにビニール袋一つで、私たちの旅行はより便利になる。私たちはバス旅行をビニール袋とともに楽しんだ。

留学生紹介

明石高専での生活



(左オフさん、右ヌンさん)

機械工学科 1年 WARAYUT WUTTIPROM (ヌン)

僕はタイから来た留学生です。日本に来てから今日までもう2ヶ月になりました。今の世界情勢のせいでタイで半年待たされ、スタートが遅れましたが、2学期から学校で勉強を始めています。

タイにいた時学校の生活に期待を膨らませていました。

実際に明石高専に来た時は、皆さんの温かく歓迎してくれて、思った以上に驚きました。多くのことが起こり、私の人生、日常生活、特に私が毎日使う言語が変わりました。

2か月という短い期間は、親切な先生や友達、先輩が助けてくれたおかげで、私は良い経験をたくさんしていますし、毎日幸せに溢れていました。そして、私がみんなから受けたサポートは無駄であってはいないように、みんなを失望させないために、これからみなさんの貴重な時間を恩返しできるように頑張ります。5年間よろしく願いいたします。

私の自己紹介

電気情報工学科 1年 DECHATORN CHUCHUEN (オフ)

皆さん、こんにちは。留学生1年生「オフ」と申します。タイから来ました。今、電気情報工学科で勉強しています。よろしく願いいたします。明石高専に来てから、私の生活が大きく変わりました。10月に来ましたが、たくさんのことに驚きました。例えば、明石高専の勉強が難しいことです。しかし、私は慣れました(笑)。

私は日本語を一週間に3回勉強しています。他の授業では、日本人の友達と一緒に勉強しています。みんなは優しいですから、本当に嬉しいです。時々勉強の内容がわからなかったら、友達はいつも助けてくれます。友達だけでなく、先生たちも私を助けてくださいます。教えるときに、私がわかるように、易しい言葉を使用します。わからないところがあったら、先生はすぐに説明します。私の経験で、2時に聞いたのに、先生はすぐに返信しました。もっと嬉しいです。

寮は便利です。私は2Eの先輩と同じの部屋にいます。先輩は私に寮のルールについて教えてくれました。先輩は私のせいで、大変になったでしょう(笑)。しかし、先輩はいつも優しいです。明石高専はいつも面白いところです。私は皆さんとの明石高専の学校生活に楽しんでいます!これからお世話になります。よろしく願いいたします!



私の留学生活

機械工学科 3年 周 子裕 (シュウ シュ)



みなさんこんにちは。中国からきた留学生の周と申します。今、機械工学科の三年生として勉強しています。高等専門学校の中国の留学生は少なく、明石工業高等専門学校でも、中国の留学生は私一人だけです。私は高専が自分に合うと思ったので、懸命に勉強して、明石高専に入学しました。

私達留学生にとって、一番難しいことは日本語です。私は日本語学校で日本語を勉強したけれど、「専門用語」がすごく私をこまらせました。この専門用語は機械の専門用語ではありません。私達日本語の初心者にとって、生活の用語とか、駅名や地名とか、インターネットやパソコンの用語とか、すべてが「専門用語」です。ちなみに教科書はありません。日本へ来なければわからなかった日本語です。おかげさまで、先生とクラスメート達がよく助けてくれたから、わからないことを勉強しているうちに、私はだんだん日本語が理解できるようになりました。これから私はもっと頑張って勉強したいです。

留学生紹介

やっと来日できました

機械工学科 3年 MUHAMMAD HAFIZ BIN ABDUL MALIK (ハフィズ)



皆さんこんにちは。マレーシアから来たハフィズです。今、機械工学科で3年生として勉強しています。

留学先に日本を選んだ理由は、子供の頃から日本に興味を持っていたからです。日本のことで最初に好きになったのはアニメです。アニメから文化など日本について少し学ぶことからできます。そして、日本語の練習ができるアニメのオープニング曲を聞くことも好きです。また、日本の桜と富士山がとてもきれいだと思います。いつの日か、友達と一緒に富士山に登ったり、花見で公園に行ったりしたいです。

4月に明石高専に編入する予定でしたが、コロナのせいで、やっと10月22日に来日できました。日本に来る前は一人でオンライン授業に参加しなければなりませんでした。それはちょっと退屈で、対面授業に参加するのとは比べて感じが違います。ですから、到着できてとても感謝しています。生活や授業に慣れるまでに少し時間がかかりましたが、先生と先輩と友達が私を助けてくれたので、楽しい時間を過ごせました。これからも、もっとみんなと楽しい時間を過ごしたいです。どうぞよろしくお願いします。

夢 建築・都市システム工学専攻 1年 ANINDITA ALYA RAMADHIANI (アニン)



こんにちは、アニンです。専攻科建築都市システムの1年で勉強しています。インドネシアから来ました。夢を叶えるために日本に来ました。高校時代から、日本に建築を勉強するのは私の夢です。今年明石工業高等専門学校に建築を勉強します。夢が叶ったとも言えるでしょう。しかし、明石高専に入学した後、今まで知らなかったいろいろな面白いことを学んだから新しい夢が生まれます。日本語と建築の勉強は難しいですが、先生方がいつも応援してくれて、将来の夢を達成するのは安心になります。それに、一人で頑張るのではなく、友達もいます。先生と友達が優しいからとても嬉しいです。他の課題は、四季に適応することも難しいと思います。インドネシアは熱帯国だから一年間の暑さに慣れましたから冬の寒さは問題になります。

しかし、面白いことがいっぱいありますから、明石高専での学生時代を楽しみます。これから、よろしくお願いします。

編入学生紹介

充実した学生生活

電気情報工学科 4年 井口 優人 (いぐち ゆうと)

兵庫県立兵庫工業高校から編入しました、井口優人です。4年次編入なので少ない期間での学生生活となりますが、楽しんでいきたいと思います。

入学した当初は外出自粛等も重なって上手く馴染みにくかったのですが、クラスメイトの皆さんのおかげで今では苦にならずに楽しんで学生生活を送っています。勉学に関しては、高校との授業内容のレベルの差が激しすぎて驚愕しましたが、教授方の熱心な教えのおかげで着実に理解することが出来ました。今でもまだまだ知らない事ばかりですが、周りの方々の刺激もあって楽しんで勉学に励んでいます。

この学校に入ってからには将来立派な技術者になりたいと考えています。そのためにも日々の学生生活を充実し、知識を蓄えて卒業出来たらと思います。短い期間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願いします

建築学科 4年 安部 楓香 (あべ ふうか)

私は昨年3月に静岡県立科学技術高校の建築デザイン科を卒業し、明石高専の建築学科に編入学しました。

年度当初は編入するクラスに馴染めるのかということに加え、オンライン上での授業開始になり、不安が募るばかりでした。しかし、その中でも気にかけてくださる先生方や、オンライン上でも話しかけてくれたクラスメイトのおかげで不安も少なくなっていました。

対面授業が始まり、編入生という私相手にも分け隔てなく接してくれる和気あいあいとしたクラスの雰囲気と安心し、少しずつ慣れていくことができました。

あと残り約1年という短い期間ですが、日々を大切に、明石高専で学べる最大限を吸収したいと思っています。よろしくお願いします。

各種大会コンテスト報告

史上初、オンライン高専ロボコンを終えて

機械工学科 3年 神馬 綾乃（じんま あやの）



今年のテーマは、『だれかをハッピーにするロボットを作ってキラリ輝くパフォーマンスを自慢しちゃおうコンテスト』。大会はオンラインで行われました。私がチームリーダーを務めたAチーム『明石新快速』は、つり革を掃除するロボットを開発し、近畿地区大会ではアイデア賞・特別賞(ローム株式会社)をいただきました。また、後日競技委員会推薦にて全国大会への出場を決め、特別賞(東京エレクトロン株式会社)をいただきました。私は歴史に残るこの全国大会で、選手宣誓という大役を担いました。このような状況下でも大会を行えること、活動を支えてくださった方々への感謝の気持ちを込めながら誓った言葉は、有難いことに沢山の人の心に刺さり、司会の方を泣かせてしまいました。今年は審査員による判定だったためどのチームも

満足のいく結果が得られませんでした。この悔しさをバネに、来年は国技館の舞台に立ち、優勝旗を抱えて帰ってきます。今後とも明石高専ロボット工学研究部を応援よろしくお願いします。

デザコン2020in名取 最優秀賞を受賞しました！

建築・都市システム工学専攻 1年 山崎 なずな（やまさき なずな）

私は、2020年12月5日6日に行われた、第17回全国高等専門学校デザインコンペティションの創造デザイン部門に出場しました。今年のテーマは、新しい結のかたち-持続可能な地域創生-というもので、私のチームは、養父市大屋町明延で行われている一円電車まつりを盛り上げ、小さな経済を生み出すことができる仕組みの提案をしました。そして、最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞することができました。今大会は、コロナの影響で初のオンライン開催となり、与えられた持ち時間の中で、画面の向こうにいる審査員に提案をアピールすることがとても難しかったです。しかし、メンバーや先生方に支えてもらいながら、オンラインだからこその作戦を考え、デザコンに取り組んだ時間はとても楽しく、充実していました。

最後に、この場をお借りして応援して下さった方々に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

初めての私の英プレ☆

機械工学科 2年 THANAPORN SRIPUNGWIWAT（ムイエン）



私は 2020年11月14日にオンラインで第 14 回近畿地区高専専門学校英語プレゼンテーションコンテスト・チーム部門に出場しました。私は 3年生のサーイさんとティアンさんと一緒にプレゼンしました。今年度は順位付けが行われませんでした。私たちは「Fair Treatment for All」というテーマで発表して、「Passionate Persuaders Award」を受賞しました。

オンラインで開催することになったので、当日の前に私たちは自分たちの発表を録画して、そのビデオを送りました。そして、当日は審査員からの質問に答

えました。

私にとって、今回のコンテストは日本で初めて参加したコンテストだったので、とてもドキドキしましたが、ハーバート先生や北川先生や先輩たちなどの支えと協力のもとで、今回のコンテストが無事に終了しました。今回のコンテストで私が学んだことや経験したことなどから自分を磨きたいと思っています。最後に、一緒に練習して下さった皆様、応援してくださった皆様、ありがとうございました。

各種大会コンテスト報告

第14回高校生対象コンペディション！！

建築学科 2年 三島 朋也（みしま ともや）

僕は「第14回高校生対象コンペディション」に参加しました。テーマは「音を感じる軽井沢の家」で建築と音をどのように組み合わせるかを提案するものでした。最初は「音」と「建築」を結びつける事に非常に苦労しました。そこで実際に森や川に行き、目を閉じて耳を澄ませ、全身で自然を感じて自分自身の直感を大切にしたいと思いました。その場で感じたことを建築物の中にも感じられるようにしたいと考え、始めに『変化する音』というコンセプトを立てました。多様な音を感じられる建築で共鳴パイプのイメージが浮かび、住宅建築の固定概念に縛られ過ぎずに図面に表現しました。自分にしか考えつかず、他の人が真似できないような発想を形にすることを目指しました。学年が上がるにつれて、コンペに挑戦する機会も増えると思います。1人で挑戦することや仲間と挑戦することもあると思います。この学校で仲間と共にアイデアを出して素晴らしい作品に挑戦し経験を積める事が楽しみです。これからもさらに視野を広げて感性をもっと磨いていきたいと思っています。

最後になりましたが、ご指導して頂きました先生方に心から深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

日本カメラフォトコンテスト年間優秀作品賞

建築学科 5年 田中 邑樹（たなか さとき）

皆さんは趣味はお持ちですか？趣味を持ち、取り組むことはとても大切だと思っていて、私の場合はカメラと写真です。最近のフォトコンテストは、オンライン上からでも応募できるものが増えています。私もそこから、毎月のコンテストになんの気無しに応募したのですが、たまたま金賞をいただくことができました。私にとっては思ってもいないタイミングの受賞で、年間優秀作品賞にも選出いただきました。正直自分が一番驚いています。何事でも、自分で作り上げたものが評価されるというのはとても気分が良いものです。特に写真は、構想や制作などすべての工程を自分一人で作り上げてゆくものですから、その思いはひとしおです。もし趣味がない方は、なにか没頭できる趣味を見つけて、趣味を持っている人も、ぜひ人に評価してもらってみてはどうでしょうか。



（掲載画像は受賞作品 題:あんた最近どうなん）

兵庫県高校生スポーツクライミング大会優勝

建築学科 3年 小林 優太（こばやし ゆうた）



11月1日に第24回兵庫県高校生スポーツクライミング大会がありました。私はこの大会に出場するのは3度目でした。1年生、2年生の時は2位と優勝することが出来ず、今年が高校生大会に出場できる最後のチャンスでした。大会が終わるたびに他の選手と自分の登りを比べ、悪かったところを見つけ改善するように練習してきました。今年こそは悔しい思いをしたくないと思っていました。しかし、今年はコロナで練習施設が閉まっていたりして思うように練習できない日々が続きました。学校が始まった頃からクライミングジムもオープンし練習ができるようになり、大会で優勝することが出来ました。残念ながら、全国大会はコロナで中止になりましたが、県大会は悔いの残らない良い結果となり、とてもうれしかったです。応援してくれた皆さん、ありがとうございました。

図書館より



令和2年度学生用推薦図書・雑誌

推薦図書コーナーに開架しています。(以下、抜粋)

誌 名	請求記号	登録番号
機械工学科推薦		
最新鋳鉄鋳造技術講座 第3巻 造型法(生型造型・自硬性鋳型造型)と中子「日経ものづくり」	DVD	DVD146
	雑誌	
電気情報工学科推薦		
ディーブラーニング G検定公式テキスト	007. 1. S	109788
Excelで操る! ここまでできる科学技術計算	418. 1. K	109792
コンピュータアーキテクチャ:定量的アプローチ	548. 2. H	109793
インバータ制御技術と実践(設計技術シリーズ)	542. 5. N	109798
からだを測る:健康管理機器の仕組みと働き	492. 8. S	109799
回路シミュレータLTspiceで学ぶ電子回路	549. 3. S	109800
「OHM総合電気雑誌」	雑誌	
「トランジスタ技術」	雑誌	
都市システム工学科推薦		
空飛ぶプログラム:ドローンの自動操縦で学ぶプログラミングの基礎	507. 9. D	109820
よくわかる最新BIMの基本と仕組み:設計・施工の生産性が飛躍的に向上	525. 1. I	109822
建設現場Webカメラ導入の手引き	510. 95. K	109823
地震予測は進化する!「ミニプレート」理論と地殻変動	453. 3. M	109825
AIのインフラ分野への応用	510. 9. F	109828
構造解析のための材料力学	501. 34. T	109829
機械学習入門ボルツマン機械学習から深層学習まで	007. 1. 0	109831
Velo-City:Architecture for Bikes	725. 3	Y11931
コンクリート構造工学(第5版)	511. 7. T	109832
土木材料実験指導書(2019年改訂版)	511. 4. D	109833
生コンクリート	JIS. 2020. 10 (JISハートブック)	109843
建築学科推薦		
建築家・永田昌民の軌跡居心地のよさを追い求めて	527. 0. M	109805
家具でつくる本の空間	012. 9. F	109807
京都学び舎の建築史	521. 6. 0	109808
デンマークのスマートシティデータを活用した人間中心の都市づくり	318. 93. N	109810
マイホームの彼方に:住宅政策の戦後史をどう読むか	365. 31. H	109811
構造設計プロセス図集	524. 0. 0	109813
鉄筋コンクリート建築の考古学	523. 35. G	109816
瀬野式・住宅設計エスキス帖	527. 1. S	109817
世界の都市:5大陸30都市の年輪型都市形成史	518. 8. H	109818
介護と環境空間のもつ力	369. 9. I	109860
一般科目推薦		
ストラング:線形代数イントロダクション	411. 3. G	109760
コーシー解析教程(数学くらすしす)	413. 0. C	109762
複素領域における線形微分方程式	413. 6. H	109764
多変数超幾何関数	413. 5. Y	109766
楕円積分と楕円関数	413. 57. T	109768
具体例から学ぶ多様体	415. 7. F	109769
外国人労働者・移民・難民って誰のこと?	366. 8. N	109777
大本営参謀の情報戦記:情報なき国家の悲劇	391. 6. H	109780
TOEIC亡国論	830. 7. I	109782
「大学への数学」	雑誌	
「CNN English Express」	雑誌	
全86冊、雑誌7種、DVD1種		

図書館より

利用ランキング 2019.10.1 – 2020.9.30

ー図書ー

- ①27回 「TOEICテスト公式問題集新形式問題対応編」
- ②25回 「リーディング編:公式TOEIClistening&readingトレーニング」
- ③24回 「vol. 6:TOEICテスト新公式問題集」
- ④23回 「リスニング編:公式TOEIClistening&readingトレーニング」
- ⑤16回 「2:公式TOEIClistening&reading問題集」
- ⑥14回 「pbk:Quickthinking」
- ⑦12回 「pbk:Sarah’ssurprise」
- ⑧11回 「vol. 5:TOEICテスト新公式問題集」
- ⑧11回 「pbk:Ialwaswin!」
- ⑧11回 「pbk:Quiznight」
- ⑧11回 「演習力学」
- ⑧11回 「4:公式TOEIClistening&reading問題集」

ー雑誌ー

- ①74回 「新建築, 住宅特集」
- ②63回 「新建築」
- ③11回 「A＋U」
- ④9回 「建築知識」
- ④9回 「ニュートン」
- ⑥5回 「AERA」
- ⑦3回 「日経Linux」
- ⑧2回 「KansaiWalker」
- ⑧2回 「ディテール」
- ⑧2回 「住宅建築」
- ⑧2回 「建築文化」

ーDVDー

- ①2回 「ハリー・ポッターと謎のプリンス」
- ①2回 「Part2:ハリー・ポッターと死の秘宝」
- ③1回 「ハリー・ポッターと炎のゴブレット」 他8点

図書館利用状況（平成27年度から平成31(令和元)年度）

項目 / 年度			27年度	28年度	29年度	30年度	31(令和元)年度
年間	入館者数	時間内	17,637	20,940	19,611	20,342	23,742
		時間外	6,259	5,531	5,303	5,113	6,107
		計	23,879	26,471	24,964	25,455	29,849
	AVルーム	計	118	95	145	93	97
		貸出者数	3,079	2,499	2,723	3,731	3,454
	貸出冊数	計	6,295	4,968	5,710	8,802	8,016
		計	300(78)	235(75)	176(67)	299(102)	318(97)
	開館日数	年間	291	289	281	281	276
一日平均	入館者数(時間内)		61	72	81	85	101
	入館者数(時間外)		26	19	23	22	27
	A V コ ー ナ ー		0.4	0.3	0.5	0.3	0.4
	貸 出 者 数		11	9	10	14	13
	貸 出 冊 数		22	17	20	32	29

ブックハンティング（令和2年度）参加者感想文

明石高専では今年度、オンライン（ジュンク堂書店Web選書）上でブックハンティングを実施しました。参加した学生の感想を掲載します。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響でWEB選書となりましたが、インターネットでほしい分野の本を探したり、レビューを見たりして、普段とは違った選書ができたと思います。

また、今回、私は技術書を選書させていただきました。技術書は基本的に高額なものが多く少し手が出にくい書籍です。しかし、ブックハンティングを利用することで、技術書等にも手が出やすく、他の学生とも共有できるので、とても良い機会だったと思います。

（電気情報工学科 3年 南川 健志郎）

校内短信・行事予定・学生表彰

●校内短信

月/日(曜日)	行事
9月23日(水)	専攻科入学試験(学力選抜)
10月1日(木)	後期授業開始 全校集会
10月18日(日)	近畿地区高専ロボットコンテスト オンライン開催 3チーム出場 Aチーム:アイデア賞・特別賞 Cチーム:技術賞
10月22日(木)	2年バス旅行 機械:京都 電気:京都 都市:京都 建築:岡山
10月31日(土) ～11月1日(日)	高専祭 高専祭代休:2日(月)
11月14日(土) ～15日(日)	近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト オンライン開催 シングル部門2名、チーム部門1チーム3名出場
11月17日(火)	寮生球技大会
11月29日(日)	全国高専ロボットコンテスト オンライン開催 2チーム(A・Cチーム)出場 Aチーム:特別賞
11月30日(月) ～12月4日(金)	後期中間試験
12月5日(土) ～6日(日)	全国高専デザインコンペティション 於:名取市文化会館(オンライン開催) 空間デザイン部門2チーム出場 構造デザイン部門1チーム出場 創造デザイン部門2チーム出場: 内1チーム最優秀賞(文部科学大臣賞) プレデザコン部門1チーム出場:最優秀賞
12月15日(火) ～16日(水)	スポーツ大会 (12/15 全校避難訓練)
12月16日(水)	学寮クリスマス会
12月23日(水)	全校清掃日
12月25日(金) ～1月5日(火)	冬季休業
1月13日(水)	学寮予銭会
1月23日(土)	入学試験(推薦選抜)
1月30日(土)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト オンライン開催 シングル部門1名出場2位
2月12日(金) ～19日(金)	後期期末試験・専攻科後期試験
2月19日(金)	終業式
2月21日(日)	入学試験(学力選抜)
2月22日(月)	臨時休業
2月24日(水) ～26日(金)	学力補充期間

●行事予定

月/日(曜日)	行事
3月20日(土)～31日(水)	学年末休業
3月23日(火)	第55回卒業式・第24回修了式
4月3日(土)	第60回入学式 開寮・入寮式
4月5日(月)	始業式 専攻科生オリエンテーション
4月6日(火)	前期授業開始
4月7日(水)	新入寮生歓迎会
4月13日(火)	健康診断
4月17日(土)	後援会役員会
4月21日(水)	学寮防災訓練
5月12日(水)	寮祭
5月13日(木)	スポーツ大会
6月1日(火)	専攻科入学試験(推薦選抜)
6月1日(火)～7日(月)	前期中間試験
6月14日(月)～16日(水)	寮生体育祭
6月25日(金)	全校清掃日
6月26日(土)	文化発表会(発表の部)
6月26日(土) ～7月4日(日)	保護者懇談会 授業の公開 (6月28日～7月2日)
6月～7月	近畿地区高専体育大会
7月10日(土)	オープンキャンパス
7月30日(金) ～8月6日(金)	前期期末試験・専攻科前期試験
8月6日(金)	全校集会
8月7日(土)～8日(日)	オープンキャンパス
8月10日(火)～12日(木)	学力補充期間
8月13日(金) ～9月30日(木)	夏季休業
8月～9月	全国高専体育大会 於:東北地区

・行事予定について、新型コロナウイルス感染症等の影響により、一部変更になる場合があります。

●学生表彰

●課外活動優秀賞

第14回高校生対象コンペティション 佳作
建築学科2年 三島 朋也
第14回高校生対象コンペティション 奨励賞
建築学科3年 岩崎 真由子
第14回高校生対象コンペティション 奨励賞
建築学科2年 伊口 蒼真

日本カメラ 年間優秀作品賞(学生の部)
建築学科5年 田中 邑樹

全国高等専門学校デザインコンペティション2020in名取
創造デザイン部門最優秀賞(文部科学大臣賞)
建築・都市システム工学専攻1年 山崎 なずな
建築学科5年 市岡 翼
建築学科5年 川畑 礼奈
建築学科5年 鳴瀧 康佑

全国高等専門学校デザインコンペティション2020in名取
プレデザコン部門創造デザインフィールド最優秀賞
建築学科3年 大池 岳
建築学科3年 寒竹 志勇
建築学科3年 内藤 廉哉
建築学科3年 山口 ひより

第24回兵庫県高等学校スポーツクライミング大会1位
建築学科3年 小林 優太

第14回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
シングル部門2位
建築学科4年 河部 花梨

●寮生会功労賞

都市システム工学科5年 内海 太樹

編集後記

リモート形式と対面形式の長所・短所が明確になってきました。この経験を今後の教育に生かし、高度デジタル社会に対応できる技術者の育成に尽力いたします。 K・I